



中大サッカー部 2年ぶりプロ入り会見



新たな所属先のユニホームを着て意気込む3人。
左から翁長、古橋、飯干各選手

中央大学サッカー部は1月26日、多摩 キャンパス内で翁長^{おなが}聖選手らのJリーグ入 りを発表した。プロ入り会見は2年ぶり。

Jリーグ入りするのは、V・ファーレン長崎のMF翁長聖選手、F C 岐阜のFW古橋^{きょうご}亨梧選手で、MF飯干雄斗選手はいわきF C (福島県社会人2部リーグ)に決まった。

3選手は記者会見で力強い抱負を述べた。「90分間、動き回ります」(翁長選手)、「スピードを生かしたい」(古橋選手)、「ボールを扱う技術に自信があります」(飯干選手)。

長崎と岐阜はともにJ2で、今

季は2月26日から11月19日まで
に全42節が組まれている。

J1昇格プレーオフ決勝は12月3日。岐阜—長崎のシーズン初顔合わせは第15節の5月21日に岐阜・長良川で。2人のはつらつとしたプレーが見られそうだ。

J F A アカデミー福島(日本サッカー協会による中高一貫教育)に所属していた飯干選手は、「中学・高校と福島で過ごしました。その地でサッカーができることをうれ

しく思います」と感慨深く話し、東日本大震災からの復興を目指す人たちに「夢や希望を与えられるようにしたい」とプレーでの貢献を誓った。

中大の2016年シーズンは関東大学リーグ2部の5位(参加12校)。今季は1部昇格できる準優勝以上を目指す。

